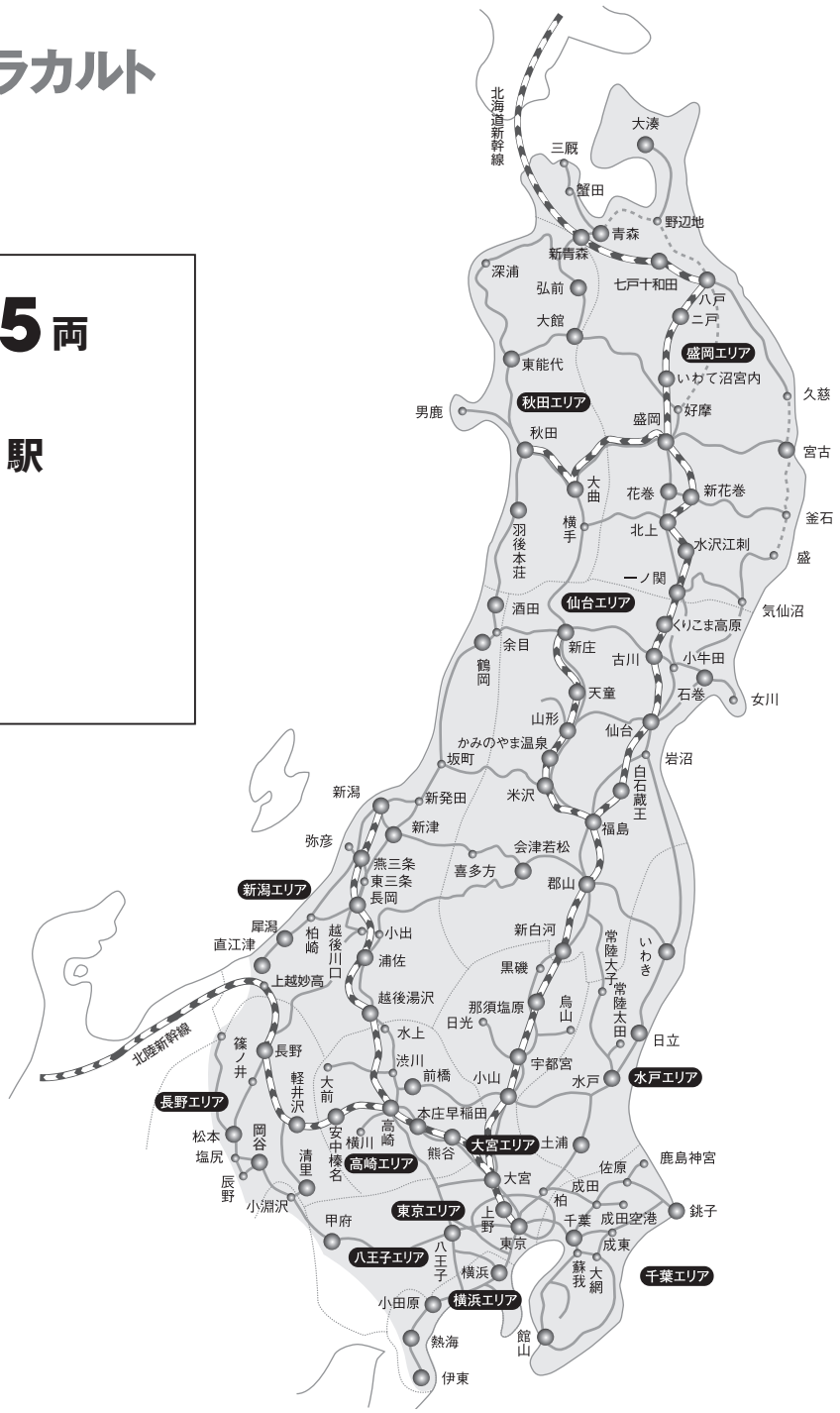
JR東日本データアラカルト

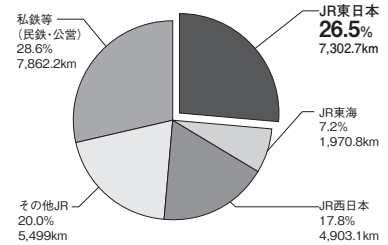
車両数	12,375両
駅数	1,681駅
線区数	69線区

※2024年4月1日現在
※出典：東日本旅客鉄道株式会社ウェブサイト「会社概要」

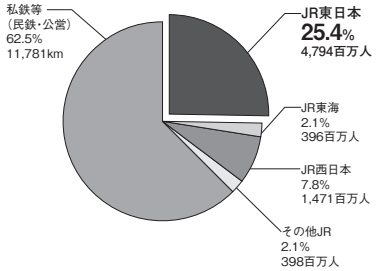


国内鉄道事業における JR東日本のシェア

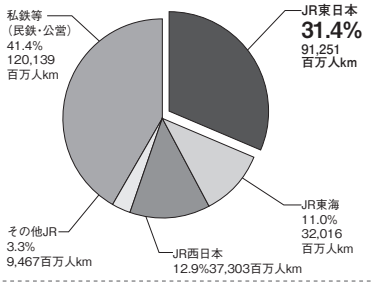
■営業キロ



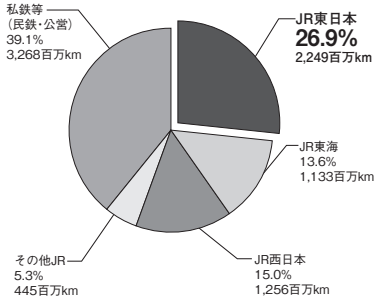
■輸送人員



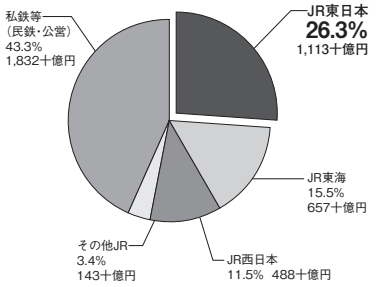
■旅客人キロ



■車両キロ



■旅客運輸収入



※JR貨物を含みません
※営業キロは貨物専用線を含みません
※東京モノレールは私鉄等に含まれます
※端数処理の関係上、合計値が合わない場合があります
※出典「鉄道統計年報（令和３年度）」（国土交通省）

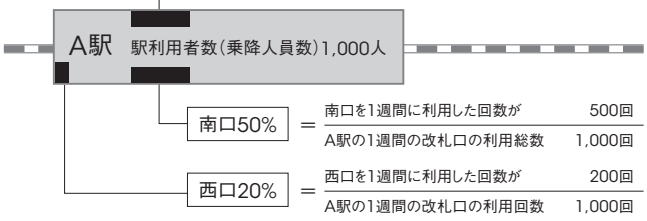
口別利用率の考え方

駅構内の各改札口について1週間の利用経験を調査し、口別利用率を算出しています。

口別利用率の算出方法

口別利用率（1週間の当該改札口の利用比率）＝ 1週間で調査対象者が当該改札口を利用した総数 ／ 1週間で調査対象者が当該駅の改札口を利用した総数

例）A駅の口別利用率



※各駅とも改札口の利用率の合計が100%になります

1. 赤羽	**9. 上野**	**17. 大宮**	25. 神田	**33. 桜木町**	**41. 立川**	49. 西日暮里	57. 松戸	65. 代々木
2. 秋葉原	10. 鶯谷	18. 大森	26. 関内	**34. 品川**	42. 田端	50. 西船橋	58. 三鷹	
3. 阿佐ケ谷	**11. 浦和**	19. 御徒町	27. 北千住	**35. 渋谷**	43. 田町	51. 日暮里	**59. 武蔵小杉**	
4. 浅草橋	**12. 恵比寿**	20. 荻窪	**28. 吉祥寺**	36. 十条	**44. 千葉**	52. 浜松町	60. 武蔵境	
5. 飯田橋	13. 王子	21. 御茶ノ水	29. 錦糸町	**37. 新宿**	45. 鶴見	**53. 原宿**	61. 目黒	
6. 池袋	14. 大井町	22. 柏	30. 国分寺	**38. 新橋**	**46. 東京**	54. 藤沢	**62. 有楽町**	
7. 市ケ谷	**15. 大崎**	23. 蒲田	**31. 五反田**	39. 水道橋	47. 戸塚	**55. 船橋**	**63. 横浜**	
8. 市川	16. 大船	**24. 川崎**	32. 駒込	**40. 高田馬場**	48. 中野	56. 町田	64. 四ツ谷	

※太字の駅は「駅プロファイル」で紹介しております。上記65駅につきましては口別利用率データがございます。

調査概要

①「交通広告共通指標策定調査」

	車両メディア調査	駅メディア調査
調査方法	インターネットリサーチ	
調査期間	2015～2024年度	2013～2019年度
調査協力鉄道会社	京急電鉄、東京地下鉄、京成電鉄、東武鉄道、西武鉄道、京王電鉄、小田急電鉄、東急電鉄、東日本旅客鉄道、東京都交通局、相模鉄道（計11社局）	
調査対象者	1都3県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）在住で、調査当日調査指定路線に乗車した人	1都3県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）在住で、調査当日調査対象駅の指定スポットを通過した人
調査数	1素材あたり300人を調査	1素材あたり100人を調査
調査広告素材数	1,364素材（全ユニット合計）	297素材（全ユニット合計）
調査実施機関	株式会社ビデオリサーチ	

②「JR 主要駅改札口別利用実態調査 2024」

調査エリア	1都3県（東京、神奈川、埼玉、千葉）
調査方法	インターネット調査
調査時期	2024年12月
調査対象駅	上記65駅
調査対象者	15～69歳の当該駅利用者
調査数	調査期間内に調査対象駅のいずれかを利用した10,733人